

2024_1229「浅間山とおおいぬ座（動画）」日々の理科 3797号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

太陽や月は、同じ場所から観測しても、季節や日付によって昇る地点、沈む地点は異なります。しかし、星座や恒星は、どの季節やどの日付に観測しても、正確に同じ場所から昇り同じ場所に沈みます。たとえば、「〇〇岳の山頂から見ると、オリオン座は△△山と□□岳のコル（鞍部）に沈む」という具合です。

北軽井沢の私の山荘の庭からは、ちょうど「おおいぬ座」が浅間山の山頂付近に沈みます。今の時期なら午前4時頃、2月上旬なら午前1時頃、4月上旬なら22時頃に沈みます。季節によって時刻は変化しますが、沈む地点は常に浅間山の山頂付近です。今回はその動画です。

最初に見える輝星は「おおいぬ座β星」です。固有名を「ミルザム」といい、犬の前あしの先端にあたる恒星です。やがて画面右上に非常に明るい星が現れます。これが「おおいぬ座α星」の「シリウス」です。全天一の明るい恒星です。シリウスの左下、ちょうど浅間山山頂に沈む小さな星の集団は「おおいぬ座散開星団M41」です。非常に美しい星団で、双眼鏡でもよく見えるので、シリウスのそばを探してみてください。

(2024年12月下旬／北軽井沢／東京から遠隔観測)

